

令和8年度佐賀県医療センター好生館看護学院

学校関係者評価委員会

日 時	令和 8 年 6 月 1 5 日 1 6 時～		
場 所	好生館特別会議室		
出席者	三好委員(実習先副館長)	看護学院	田中学院長
	伊東委員(実習先看護副部長)		松本副学院長
	日浦委員(同窓会長)	助産学科	岩本学科主任
	大越委員(後援会長)	看護学科	坂井教務主任
			古賀室長
議 題	1 令和 7 年度学生アンケートの結果について		
	2 令和 7 年度自己評価結果について		
	3 令和 8 年度からの評価について		
	4 その他 学院の運営に関する意見交換		
	1 令和 7 年度学生アンケート結果について ○令和 7 年度に行われた学生アンケートの結果については、事前に資料が送付されており、会議では概略が説明された。 ○委員から次のような質問・意見があった。 ・「iPad が教材だと使いにくい」との意見が出ているが紙の教材が好ましいのか。 →iPad 内の電子教科書は紙の教科書と違い毎年更新されるため書き込み跡等が探しにくいという不便な点もあるが、使いこなせると情報量が多いなど便利なところも多いため、紙の教材と使い分けるなど改善案を模索していく。 ・スクールカウンセラーはどれくらいの頻度でお越しになるか。 →月に 2 回程度来ていただいている。 2 令和 7 年度自己評価結果について ○評価結果については、事前に資料が送付されており、会議では概略が説明された。審議の結果、自己評価結果が承認された。 ○委員から次のような質問があった。 ・レベル 3 のインシデントの報告があるが、インシデントのレベル分けの基準は病院と同じか。 →病院と同じである。だが本件は患者に被害が及んだわけではなく、学生と実習先との書類の受け渡しの問題であり、今後は書類の管理を改めて徹底していきたい。 3 令和 8 年度からの評価について ○法改正に伴い学校評価の新ガイドラインが示されたことを受け、令和 8 年度からはガイドラインに基づいた新たな項目により自己点検評価を行うことが説明された。ガイドラインの評価項目例から本学院に適応した形に修正した評価表を作成し、後日書面での承認をもって来年度の評価項目とすることが報告された。		

	○委員から次のような質問があった。 ・留学生は本学院の受験資格はあるのか。国家試験は受けられるのか。 →留学生も要件を満たしていれば本学院の受験資格がある。看護師国家試験も受験出来る。 4 その他学院の運営に関する意見交換 ・学生から施設が古いとの意見があるが、本学院の耐震性は万全なのか。 →本学院は 1994 年に移転新築されており、1981 年以降の「新耐震基準」（震度 6 強～7 規模の地震で「倒壊・崩壊しない」ことを想定した基準）を満たしている。この基準を満たしているので一定の安全性が担保されている。 ・エアコンは稼働しているのか。 →エアコンは令和 3 年度に大きく改修を行い、現在稼働している。
--	---